

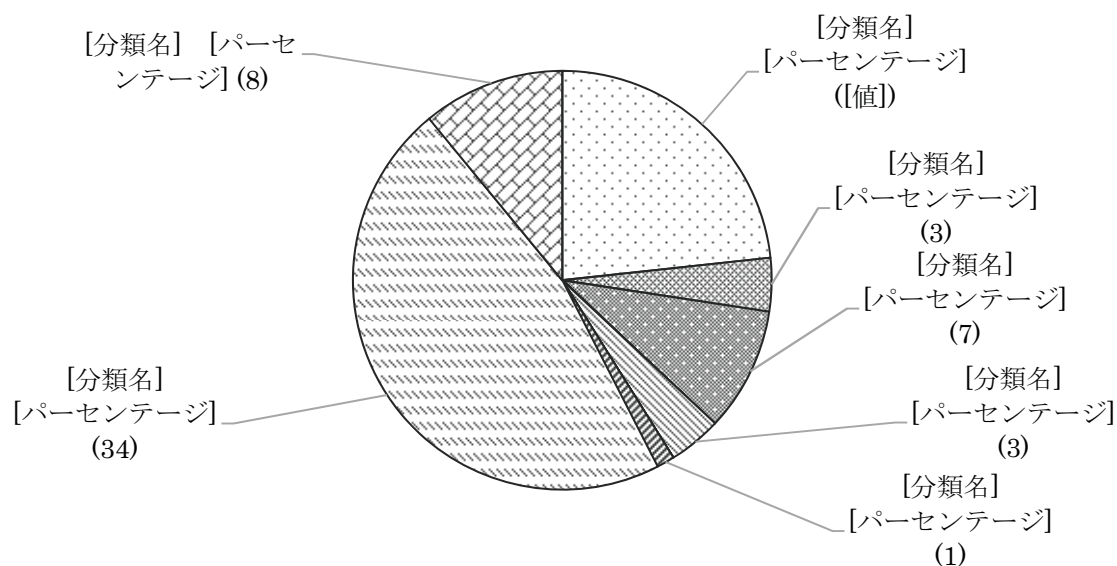
- 今回このような機会を頂きありがとうございました。参加者に海やサンゴ礁をテーマにアート体験を楽しんで頂き、臨床美術の普及に役立ちました
- サンゴ礁 WEEK 限定の参加者に渡せるノベルティ(シールとかバッチなど)があると、イベントでも活用できるからいいなと感じた。
- 博物館を会場とするのであれば、県民アトリエのみではなく、他の場所(続きの部屋)も使って、その一帯でサンゴ礁 WEEK イベントをやっている、というようなもう少しボリュームを増やして目立つようなイベント開催とすべきだったと思います。また、こういう場所を使う場合は、やはり、来館者の動線を使って呼び込めるような工夫が必要だと思います。博物館も同じサンゴ礁 WEEK のイベントをしていましたが、そこの連携は一切ありませんでした。
- いつもありがとうございます。今後とも頑張ってください。
- 毎年思うのですが、チラシが多すぎます。必要部数を聞くとか、最低限度のチラシで必要であれば各自で印刷しても良いかと思えます。
- イベント実施時の配布用に沖縄県サンゴ礁保全推進協議会のリーフレットを日本語版と英語版で欲しいです。
- 特定の時期に集中させると世間的には目立つのかもしれないですが、似たようなコンセプトのイベントの食い合いも生じるし、天候が悪いと屋外系のイベントは全滅になってしまう。一年のうち短期間だけお祭りに盛り上げるよりも、もっとサイトや SNS 発信に特化して、イベント周知したい人と関心のある人がつねに集まるようなプラットフォームを運営するというのはいかがでしょう。現状、いろいろな人が熱意をもって、でもバラバラに活動している状態だと思うので、長期的に見ればお祭りを盛り上げるよりも、現場で普及啓発活動をしている人の後押しを地道にやった方がいいように思います。
- 参加者アンケートを実施しましたが、アンケートの文面が大人向けで、小さい子どもが多く参加するイベントには少し不向きかなという印象です。感想を引き出せるような子ども向けアンケートを別に作ると良いと思えます。
- もっと沖縄の人とコラボしたかったです。
- 支援金の支給は毎年大変助かっています。今後も継続をお願いします。
- 支援金の支給は毎年大変助かっています。今回は著書を購入したため、講師への謝礼・交通費の支払いは無く、スタッフも交通費自己負担で運営しています。さらに増額いただけるなら、スタッフ近距離交通も支出できて助かります。

支援金の提供やチラシ・ポスター等の広報支援がイベント実施団体にとって重要な支援となっていることがわかった。一方で、チラシの数が多すぎて掃ききれないという団体も出てきた。博物館の県民アトリエについては、博物館入館者の導線から完全に外れた場所にあり、集客に苦労したとのことであった。また博物館は基本的に館内でののぼり類の掲示を禁止しており、館内でのぼりを立てる場合は事前に十分な協議が必要と考えられる。野外のイベントは多くの団体が天候に左右されるネックを上げる一方、普及啓発活動における野外イベントの魅力は捨てがたいと考えていることが伺える。雨天対応のための学習要素のあるゲームや工作キットなどを協議会側で用意し、雨天時の時にいつでも貸し出せるようしておく、野外イベントの強力な支援となる可能性がある。

## B. イベント参加者向けアンケートについて

イベントの主催者に、イベント実施時に参加者向けのアンケートの実施をお願いした。計7団体から計76件の回答を得た。回答の回収が少なかった理由としては、アンケートのデータの配布が直前になってしまった、野外イベントでアンケートを取ることが難しいなどが挙げられ、ほかにデータがうまく開けなかったという報告が複数あった。

イベントを何で知ったか 73件の回答

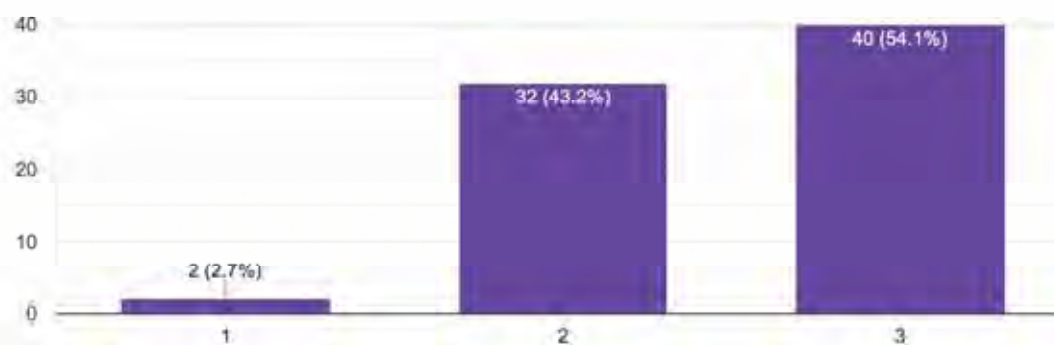


その他に含まれる内容	回答数
イベント主催	2
小学校にポスターはってあった	1
散歩で通りかかった	1
ぴらつかごよみ	1
やいまタイム	1
共済者	1
毎年参加してるため	1

\* 「協議会のHP、FB ページ」「ラジオの告知」は選択者なし

### イベント参加前、どのくらい関心があったか

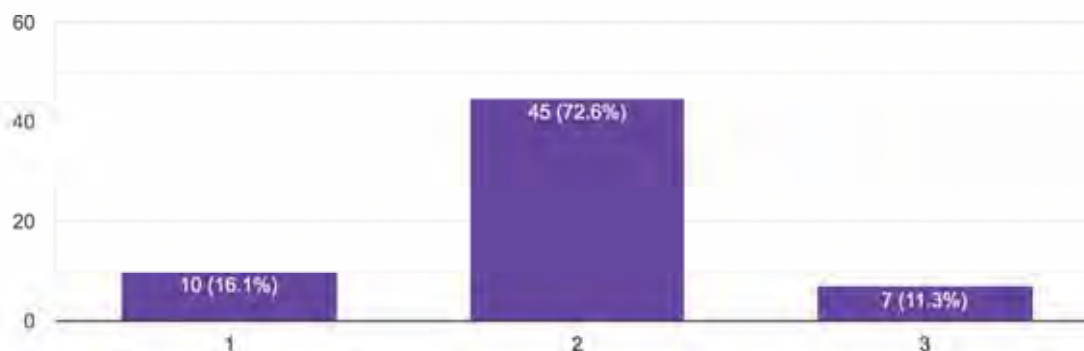
74件の回答



(あまりなかった←1・2・3→かなりあった)

### 参加前、どのくらい知識があったか

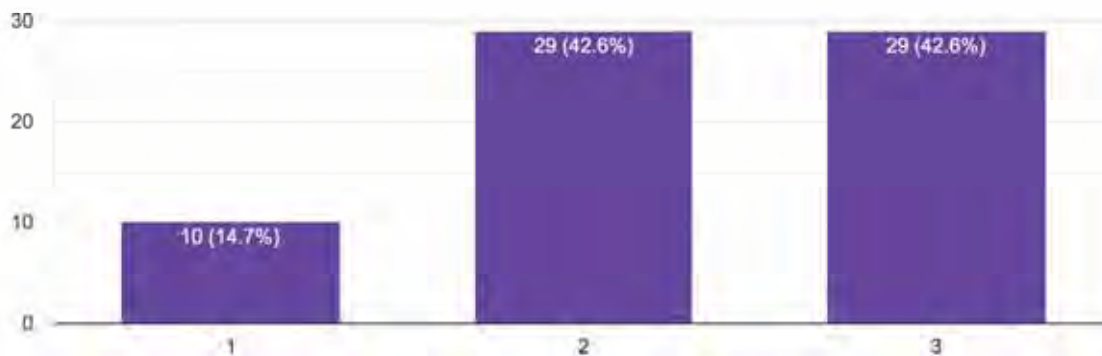
62件の回答



(あまりなかったと思う←1・2・3→かなりあったと思う)

## イベント参加後、関心は高まったか

68 件の回答



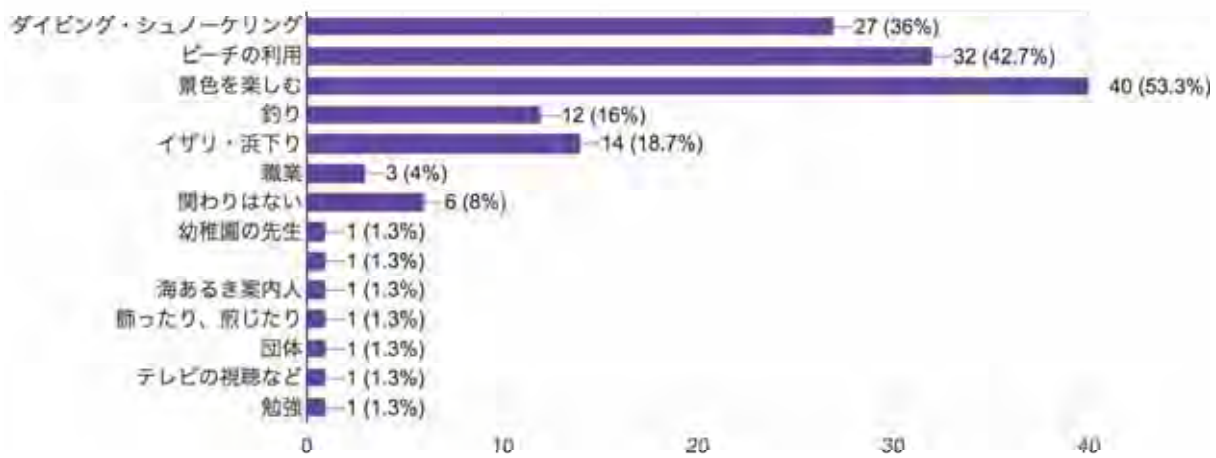
(あまり変わらないと思う←1・2・3→かなり高まった)

### ➤ 新たに知ったこと

- アートでサンゴ礁を楽しめるのは、とてもおもしろかった！
- 白化したサンゴはまたふりだしになる。
- いろんないきものが面白く生活しているということ
- ブダイという魚がいるとわかった
- あまりない。
- 知らない生き物についてよくわかった
- うみのきけん生物についてわかった
- ふだん見慣れている海岸にサンゴがあると知った
- 蛍光。ブラックライトで光ること。
- ヒトデの食性
- 800万トンのゴミが海へ出ている
- 褐虫藻がサンゴにいること
- 赤土との関係
- ひまわりが赤土防止になる事を知りました。
- サンゴの種類、名前
- 小学生中学生が参加してがんばってる
- サンゴ礁とはサンゴの群ではなく地形だということ
- サンゴはあたたかい海が好きだということ
- 畑の雨水が海に流れて行き汚していること

## あなたとサンゴ礁の関わり

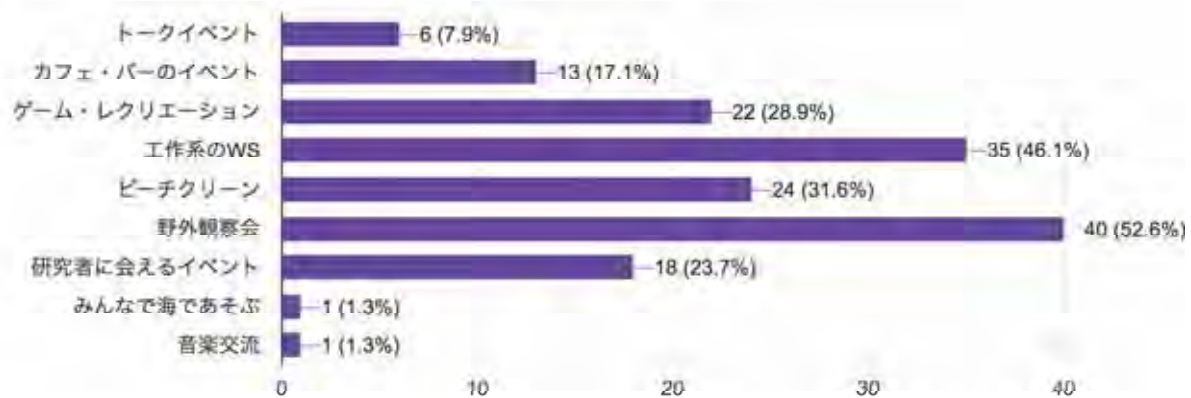
75 件の回答



(複数回答可)

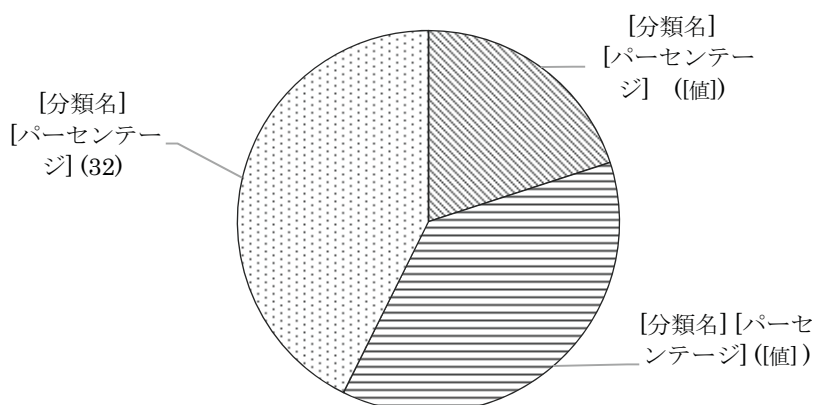
## 次に参加したいイベント

76 件の回答



(複数回答可)

## 協議会についてしっていたか 75件の回答



### C. フェアイベントに関して

フェアイベントに関しては特にアンケート等を実施していないが、出店者からヒアリングした内容と運営側のふり返りで挙げた意見についてここに記載する。

#### ● 運営より、全般について

- 出店数に対して、一般参加者の参加数がやや少なかった。
  - ポスター、チラシ、モノレール広告の中でもっとフェアを強調できればよかった（画面の1/4くらい）
  - 日曜開催の方が、人が集客が容易だった可能性がある。土日だと土曜が仕事の人も多く、雑貨イベントなどは土日連日開催でなければ、日曜のことが多い。
  - Facebook でイベントページを作成し拡散するなど、SNS での集客にもっと力を入れるべきであった。
- 店舗設置の手間もあるので、そもそも土日の2日間開催としても良かった。
  - 1日開催とするならば、前日に会場設営した方がよい。
- 特に雑貨店舗に関しては動きの少ない店も目立った。
  - 雑貨に関しては、「たまたま通りがかった人」ではなく、雑貨が好きな購買層を狙って集める必要がある。
    - 店舗にファンを呼んで来てもらうという目算は今回あまり成功しなかった。
    - 雑貨関連のお店や客層はFacebookなどでの情報交換が多い。他にも、ジモティー、ゴーヤードットネット、雑貨コミュニティ等で情報を得ることが多い。

- ただし、雑貨にしても食品にしても、集客の多寡には店舗によりかなり差があった。
    - 配置上、客の流れが均等ではなかったという問題もあるが、ディスプレイの技術や販売員の積極性に拠る部分も大きいと考えられる。
- 運営より、会場について
  - 新都心公園の広場の方を利用し、雑貨とフードの店舗を円形に配置してステージを中央に設置するなど、もっと会場の一体感を持たせた方が、ステージプログラムを集客に有効活用でき、全体に客が流れた可能性がある。
    - サークル状に店舗を配置して出口を1ヶ所にすれば、来場者数の把握もより正確にできる。
  - のぼりは会場の一体感をもたせる上で非常に良かった。
    - のぼり以外にも、広域に誘導ポスターを貼ればより効果的に会場へ誘導できた可能性がある。
  - 場所柄、ステージは平台よりも目隠しがあった方が良かった。
    - 可能なら会見などで使う市松模様のバックパネルにすると、ロゴや共催・協賛企業の露出も増えるので良いのではないか。
  - 垂れ幕で協賛・後援一覧を作っても良かった。
  - 今回、芸大生にステージ出演してもらったが、芸大の学生とコラボレーションできるのであれば、立体のサンゴのジオラマのような、撮ったらSNS映えするような造形物の制作を企画できれば良かった。
  - メッセージボードを制作してお店に掲示してもらったが、お店側に手作りしてもらう方が独自性が出てよい。
  - 博物館の館内のイベント実施スペース、イメージ展の展示スペースとはかなり距離があり、また普通は人がほとんど通らない裏口からのルートになるため、連携に無理があった。
- 出店者募集に関して
  - 今回、食品の営業許可の不備に関する例外をのぞき、希望するほとんどの店舗に参加してもらった。
    - コンセプトにより深く賛同してくれる、宣伝活動に協力してくれる（ブログ、Facebook ページなどの自前のメディアを普段から十分活用している）などの条件で出店者を絞っても良いかもしれない。
    - イベントの出店費用はオンライン決済で、前払いにすると直前キャンセルが少なくなると考えられる。
- 一般参加者より
  - もっとサンゴやサンゴ礁のことを知れるコンテンツがあると良かった。
    - ペットワールド（海洋生物コース）、PETBOX、沖電開発などと協力して生体展示などが出来れば良かったかもしれない



■ 協議会側（協議会員など）からもっと具体的なコンテンツが提供できれば良かった。

○ 大人が楽しむ、お金があって初めて成り立つという側面が強かった。子供が無料で遊べるようなコンテンツがほしかった。

● 出店者より

○ イベントのコンセプト（雑貨・食品市を通じて地元サンゴやサンゴ礁保全に関心を持ってもらう）に関しては、肯定的な評価がほとんどであった。

○ 雑貨販売の店舗からは、通りがかる客の数が少なく十分な売上につながらなかった、という不満の声が複数上がった。

○ 遠方から来るに見合うだけの売上は上がった（食品店舗）という声もあった。

○ これまで知らなかった同業者と繋がりができて非常に有意義だった（食品店舗）という声もあった。



## ＜今後の展望＞

### A. サンゴ礁ウィークイベント

第6回目となるサンゴ礁ウィーク 2019 では、前回からイベント数としては横ばいとなった。例年に比べてイベント募集開始が遅れてしまったことが、イベント数を伸ばせなかった一因と考えられる。しかし、前回と比較して離島のみならず県外からのイベント登録が増加し、またイベントの内容自体も多様化してきている。これはサンゴ礁学会発表などの外部の場での周知活動に拠るところも大きい。沖縄県のサンゴ礁については県内のみならず県外からも注目度が高く、県外の団体に積極的にイベント実施を呼びかけていくことでサンゴ礁ウィークのイベントに広がりをもたせ、結果的に県内における活動の活性化を促すことができると考えられる。

県内外のさまざまな活動主体が実施している自発的な取り組みをサポートし、交流の機会をつくり、サンゴ礁保全に関係する活動全体の盛り上げをはかるという協議会の所期の目的の達成を目指していくため、地域的にも分野的にも広がりを持ちつつ、さまざまな活動主体や参加者の交流を促す。特に金銭的な支援以外の部分でも各活動主体が活動していく上でどんな支援を必要としているかをよく調査し、個々の団体のみならず、サンゴ礁保全界限全体の潮流により影響を与えるような支援方法について柔軟に検討していく必要がある。離島の中でも石垣島は活動が根付いており、活動主体となる団体からも協議会が認識されているが、他の離島に関しても協議会のネットワークを積極的に利用してもらえよう、認知度の向上を目指す。

### B. サンゴ礁ウィークフェア

今回、協議会主催の企画「サンゴ礁ウィークフェア」をオープニングイベントとして開催し、普段から関心の高い層以外にもサンゴ礁ウィークというイベントにふれる機会をつくることができた。当日、フェアの会場だけでなく、雑貨関連のブログや SNS などでも記事になり、あるいはシェアされた結果、広く多くの人にサンゴ礁ウィークの取り組みが伝わることとなった。しかし一方で、フェア実施にあたってイベント実施団体や協議会登録団体の参加を前もって積極的に呼びかけ、このような機会をより有効活用する余地は十分にあったものと思われる。

また、一部の出店者からは客足が伸びず売り上げにつながらなかったという不満の声も上がった。また、協議会としてフェアを主催するにあたって、フェアの企画・準備に想像以上の工数がかかってしまった。これらのことから、今後は協議会として主催するよりも、既存の、一定の客層を獲得しているフェアで、協議会の趣旨とある程度親和性の高いフェア（たとえばエコフレンドリー・オーガニックなどのテーマを冠したフェアなど）と共催する形で、このようなフェアを実施することが望ましいと考えられる。

## ○資料編

<サンゴ礁ウィーク全体の資料>

広報資料等 A.イベント登録募集チラシ原稿

# サンゴ礁ウィーク

## 2019 2/23 (土) ~3/10 (日)



沖縄県サンゴ礁保全推進協議会  
サンゴ礁ウィーク  
3月5日はサンゴの日

### 参加団体（登録イベント）募集中！

- 観察会●写真展●学習会・読み聞かせ●研究集会
- ビーチクリーン●モニタリング●その他

#### サンゴ礁ウィークとは

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会は、3月5日の「サンゴの日」を含めた前後一週間を「サンゴ礁ウィーク」と定め、沖縄県内外各所の教育機関・商業施設にて、サンゴやサンゴ礁への関心をより高めることを目的としたイベント（参加型イベント、シンポジウム/展示/トークイベント）の募集と告知をおこなっています。

#### そのイベント、サンゴ礁ウィークに登録しませんか？

あなたが主催する、種々のサンゴ礁に関係した参加型・普及啓発型イベントを「サンゴ礁ウィーク登録イベント」として登録することができます（2019年2月23日（土）から3月10日（日）の間で実施するイベントが対象となります）。登録いただくと、

- 協議会がポスターやチラシ\*1、ウェブサイト、Facebook ページその他で「サンゴ礁ウィークイベント」として広報いたします。（\*1 チラシ掲載は別に締切あり、先着 20 団体のみ）
- 希望する先着 20 団体には、準備・開催経費費用の一部負担として、イベント主催実施者ごとに 2 万円の支援金を支給します。
- 2/23（土）、24（日）、3/2（土）、3（日）は沖縄県立博物館・美術館の展示室（県民アトリエ）を確保していますので、このスペースでのイベントを開催したい希望者は活用が可能です。（会場の借用費・冷房費は当協議会が負担。アトリエ利用は 1/23（水）までに要申し込み）

詳しくは、下記のリンク先より「実施要綱」をご確認ください。

#### ▶イベント登録申し込み先

- イベントの申し込み受付は 2019 年 1 月 31 日（水）まで。ただしチラシ掲載希望の団体は 12/17（月）までとなります。（20 団体に達し次第締め切りとします）
- 右上段の QR コードのリンク先 (<https://goo.gl/forms/oaWtRzmkW5RdKsB63>) の Google フォームよりお申し込みください。
- 協議会のホームページ（右中段の QR コード）より、「実施要綱」がダウンロード可能です。
- 不明なことがあれば、下記までお問い合わせください。

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会事務局（沖縄県自然保護課 担当）  
TEL 098-866-2243 E-mail [coralreef@okikanka.or.jp](mailto:coralreef@okikanka.or.jp)



イベント申し込み Google フォーム



協議会のホームページ



サンゴ礁ウィークの Facebook ページ

主催：沖縄県サンゴ礁保全推進協議会、共催：沖縄県ほが、協賛：アラムコ・アジア・ジャパン株式会社